

平成24年 8月 1日  
和歌山県農作物病虫害防除所  
TEL 0736-64-2300

1. 病虫害名：イネいもち病（穂いもち）
2. 対象作物：普通期水稻
3. 発生地域：紀北地域
4. 発生量：並～一部のほ場で多
5. 発生状況
  - 1) 紀北地域の一部のほ場で多発生が認められている。7月25日の葉いもちの発生ほ場率は、海草郡紀美野町長谷で100%、紀の川市貴志川町国主で40%、和歌山市西で87.5%、和歌山市境原で94.1%であった（各地点10～17ほ場調査）。また、発生ほ場率80%以上の地点における発病株率は96～100%、発病度は50～60であった（表1）。
6. 防除上の注意事項
  - 1) 穂いもちの感染期間は出穂始めから15～20日の間とされているので、防除は穂ばらみ末期の薬剤散布を重点とする。葉いもちの多発ほ場ではその5～7日後の穂揃い期にも薬剤を散布する。なお、出穂始めとは全穂数の5%が出穂した日を指す。品種や田植え時期によって異なるが紀北地域では8月上旬頃から順次出穂始めを迎える。
  - 2) 防除薬剤は、最新の登録情報（農林水産消費安全技術センターHP農薬登録情報提供システム：[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)）を参照し、適正に使用する。

表1. イネいもち病多発ほ場における発病の状況

調査地点	調査ほ場数	発病株率 (%)	発病度
海草郡紀美野町長谷	2	100	59.5
和歌山市西	2	100	53.5
和歌山市境原	2	96	50.0

$$\text{発病度} = \frac{4 \times A + 3 \times B + 2 \times C + D}{4 \times 25 (\text{調査株数})} \times 100$$

A: 下葉は枯死し、完全なズリコミ症状を呈した株数  
(病斑面積率50%以上)

B: かなり病斑がみられ、軽いズリコミ症状を呈した株数  
(病斑面積率10%程度)

C: 病斑がかなりみられた株数(病斑面積率2%程度)

D: 病斑がわずかに見られた株数(病斑面積率0.5%程度)

注) 調査ほ場は、発生ほ場率80%以上の地点において2ほ場ずつ選抜した。